



帯電防止加工

ポリエステルやナイロンなどの長繊維の表面は、染色後には帯電防止剤をはじめ油剤が除去され、帯電しやすい状態になっている。そのため、裁断、縫製および着用時の帯電現象（放電、まつわりつき、乾燥粉じん吸着など）を最少限度に止めるため、最終仕上加工には帯電防止剤の付与が不可欠である。帯電防止加工とは、このような問題に対して有効な加工です。

○試験布
綿/エステル リバーシブル生地（裏サイドのエステルで試験を実施）

○試験方法
JIS L1094 摩擦耐電測定法

試証 第F0807号

試料	摩擦布	L ₀ (Volt)		L ₁ (Volt)		半減期 (秒)	
		たて	よこ	たて	よこ	たて	よこ
通常加工布 洗濯10回後	綿	2500	1800	120	120	3	4
帯電防止加工布 洗濯10回後	綿	280	150	22	24	2	2